

問

新消防庁舎建設で活動面の改善点は

町長 広い敷地内で各種訓練が可能に

新消防庁舎建設と 消防活動の改善点

問 新庁舎建設で消防職員と団員の活動面での改善点は。

答 駐車場が広く昼夜を問わず大型防災訓練など各種訓練が可能だ。訓練塔の室内放水など教育訓練も向上する。**問** 事務室や団員スペースが狭く感じる。また、広い駐車場ですべての訓練をするのか。

相内線と南12線交差点の交通安全の周知を徹底すべきでないか。

答 団員の意見を聞いており問題はない。敷地内の訓練が可能と承知している。住民への交通安全のPRは徹底する。

問 団員への感謝と消防団の維持からも消防功労者の勤続25年は特に長すぎるので、短縮の考えは。

答 提案の趣旨は理解するので顕彰審議会で検討したい。

町民に身近な 新庁舎の活用

問 新庁舎を町民が身近に活用してはどうか。

答 従前から児童などの見学をしているほか、新たに煙体験の空間も整備する。

今後は地域防災組織や地域団体、事業所などの訓練にも活用する。

問 町民の防災思想学習に消防職員と庁舎を活用すべき。また「消防まつり」を年に一度開催し防災思想を広めてはどうか。

答 提案は関係の消防組合や消防団と検討する。

自主防災組織の 活動状況と支援

問 各自主防災組織の現状と支援の考えは。

答 現在6町内会と2実践会に組織があり、コロナ禍で活動が停滞しているが、今後設立の勧奨を進める。育成支援補助金と職員参加の支援などに努める。

問 自主防災組織にポンプなどの資機材を配備したり、農閑期の土のう作りなど訓練を兼ねた活動を支援すべき。

答 町内数か所に土のうを置いていますが、今後支援内容は検討したい。

暴風雪時の高齢者 生活の支援

問 暴風雪時の高齢世帯への生活支援は。

水害時の機動力と 機動力の整備

問 水害時の防災機動力と機動力の整備は。

答 機動力は初動体制マニュアルに沿って行う。警戒レベルによりパトロール、バリエード、土のうなど各班分担当で行うが、状況に応じて消防団出動の要請もする。機動力は町所有のシヨベル2台、ダンプ1台、バックホウ1台、排水ポンプを動員する。重機借り上げ、建設業協会の機械や人員の応援もいただいている。開発建設部の大型ポンプ車の出動要請も加え万全を期したい。



やまだ ひで お
山田日出夫 議員

庁舎建設が町民の安心安全に直結してほしいです



新しい防災の拠点作りが着々と進む



山田議員の一般質問を視聴できます